



低炭素社会の実現

BUILDING A LOW CARBON SOCIETY



中部電力グループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

CO₂排出原単位 / サプライチェーン排出量 / CO₂削減の研究

2019年度実績

CO₂排出原単位 表1

0.431kg-CO₂/kWh (前年度比 ▲0.026kg-CO₂/kWh)
(0.424kg-CO₂/kWh:再生可能エネルギーの固定価格買取制度による調整などを反映した値)

サプライチェーン全体の温室効果ガス総排出量 表2

中部電力では「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン」(環境省・経済産業省)に基づき、当社におけるサプライチェーン全体の温室効果ガスの排出量を算定しています。

太陽光発電の普及拡大への対応

太陽光発電の出力予測や蓄電システムによる太陽光発電の大量導入時における系統安定化対策に関する研究を行っています。

スマートハウス

エネルギーの有効利用に関する研究を行っています。

今後の取り組み

- CO₂の排出抑制に努めていきます。
- 今後も地球温暖化対策の推進に向け、サプライチェーン排出量の把握に努めていきます。
- 再生可能エネルギーを利用した分散型電源の大量普及に向けた対応技術の研究を推進します。
- スマートハウスに関する研究を推進します。

(※1) 電力業界が実効性ある地球温暖化対策を行うため、会員事業者の取り組みを促進・支援する目的として2016年に設立。業界全体として、2030年度に排出係数0.37kg-CO₂/kWh程度(使用端)を目指しています。

(※2) 温室効果ガスとは、CO₂、SF₆をCO₂換算して表したものです。なお、連結子会社を含みません。

表1 中部電力のCO₂排出量と排出原単位の推移・見通し(基礎排出ベース)

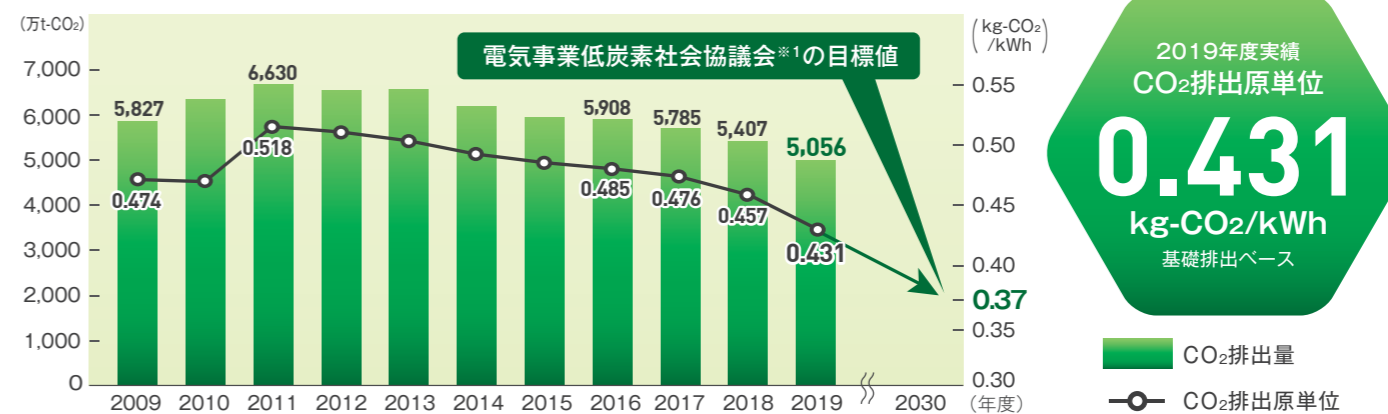


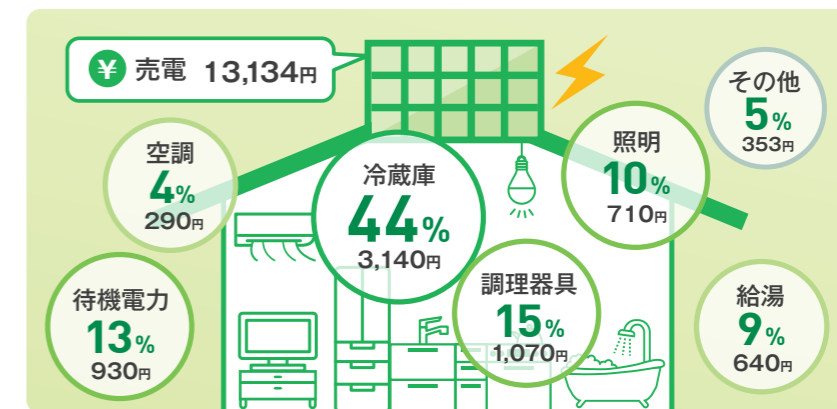
表2 サプライチェーン全体の温室効果ガス総排出量*2(2019年度実績)



図3 研究開発の取り組み



▲再生可能エネルギーの大量普及に向けたデジタルシミュレータによる電力系統解析



▲家電の電力使用割合の見える化